

はち博だより

令和8年6月1日発行 No.1 八幡平市博物館

八幡平市博物館
ホームページ



移動博物館「不動の滝まつり」に参加しました。

5月3日に桜松公園(八幡平市高畑)で行われた恒例イベント「不動の滝まつり」(主催/八幡平市観光協会)に、職員3名が参加しました。当日は天候もよく、桜が咲く会場には多くの来場者がありました。博物館ブースでは、ジャンボシャボン玉遊びと風車づくり体験を行い、約140名の家族連れや子供たちが参加して賑わいを見せました。

地域イベントの盛り上げに協力するとともに、多くの皆様に当館の存在を知っていただき、八幡平市の歴史や文化に触れていただく機会となるよう、令和元年から移動博物館として参加しています。今回は遊びコーナーのほか、通年実施の土日限定体験メニュー紹介と、会場から博物館への道案内を掲示して博物館のPRを行ったところ、不動の滝まつり会場でチラシをみて来館したという県外の方々や、「安代りんどうハーバリウムづくり」を体験したいという方、また、数日後に土日体験メニューを申し込まれたご家族など嬉しい反応がありました。



ジャンボシャボン玉あそび



風車づくり



ちびっこお楽しみ抽選会
協賛品はオリジナルボン
ボンシール詰め合わせ。

展示資料の紹介

おくなんぶうるしものがたり

かきしぶだ たる

「奥南部漆物語」の構成文化財『柿渋溜め樽』

あつびがわ

うるし

八幡平市から二戸市へ流れる安比川の流域では昔から漆産業が盛んで、令和2年6月に「奥南部漆物語 安比川流域に受け継がれる伝統技術」として日本遺産に認定されました。

当館では漆掻きの技術や漆器づくりに欠かせない道具など、歴史を伝える構成文化財41点のうち、18点を展示しています。

その中でも大きさが目をひくのは柿渋溜め樽です。これは豆柿と呼ばれる小さな柿からとれる柿渋をためておく容器です。柿渋は、漆製品を作るときに、木地の傷の修復や下地として使われ、塗師たちが自分で作っていました。昔は多くの漆器の産地で渋下地が使われていましたが、現在の浄法寺塗、安比塗の下地には漆が使用されています。地域の宝物を知って、大切な文化を伝えていきましょう。



直径/約100cm
高さ/約90cm
(当館所蔵)

令和8年度

予約なしでものづくりを体験!

土日体験メニュー

受付時間: 9:00~14:30

安代りんどうハーバリウム

勾玉(まがたま)

歴史ロマンマグネット

(3メニューいずれも一人500円)

土偶ちゃんぬりえ(無料)

お気軽にお申込みください!

スナッフ
ショット



花壇のジャーマンアイリスが見頃。ラベンダーも咲き始めました。(5/30)

八幡平市博物館

Hachimantai City Museum

お問い合わせ

電話/0195-63-1122 FAX/0195-63-1123

〒028-7533 岩手県八幡平市叭田 230

E-mail: hakubutsukan@city.hachimantai.lg.jp